

さいたま市議会議員

阪本 かつみ 市議会レポート

【2013. 6月号】

編集・発行：民主党さいたま市議団 阪本 かつみ

清水市政2期目がいよいよスタート！

清水市長が再選されて初めて迎える さいたま市議会 6月定例会が6月12日に開会しました。今議会では、全常任委員会の委員が改選となり、私は、市民・スポーツ・文化局、環境局、消防局を所管する「市民生活常任委員会」への配属が決定しました。あわせて、議会の要とも言える議会運営委員会の副委員長に選任されました。今後とも二元代表制の一翼を担う立場から市政の監視と提言を果たしてまいります。

また、今回実施されました副議長選挙において、我が会派の神崎功 議員が副議長に選任されました。民主党さいたま市議団から副議長が選出されるのは初めてのことです。議会第2派の我が会派より副議長が選任されたことで、やっと正常な議会「あるべき議会」の姿が実現したことになります。今後の民主党さいたま市議団と阪本かつみの活動にご注目ください。



さいたま市議会議員

阪本かつみ

議会運営委員会 副委員長

市民生活常任委員会 委員

決算・行政評価特別委員会 委員

政治倫理特別委員会 委員

適正な発注制度及び人員配置に関する調査特別委員会 委員

6月定例会に提出された補正予算の概要

1. 地域経済の活性化

埼玉県緊急雇用創出基金を活用して、失業者等の雇用を創出するとともに、市内企業等の支援を行う

- ・雇用対策推進事業（8千970万円）
- ・中小企業支援事業（2千822万円）

2. 防災、環境・エネルギー対策

- ・社会福祉施設等の利用者の安全を確保するため、施設の耐震化整備の助成金を交付（2億6千287万円）
- ・PM2.5自動測定機を増設（588万円）
- ・ハイパーエネルギーステーションの整備（1億30万円）

3. 子育て支援、教育の充実

- ・保育士の人材育成・確保のため、給与改善に取り組む保育所へ資金を交付するとともに、研修事業を実施（1億6千817万円）
- ・質の高い理科教育を推進するため、観察実験アシスタントを配置（1千326万円）

阪本かつみ 事務所

〒338-0836 さいたま市桜区町谷 3-24-15 TEL 048-710-4022 FAX 048-710-4023

E-mail: sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp

「阪本かつみオフィシャル Web サイト」 <http://sakamoto-katsumi.net>

—さいたま市の予算と財政状況について—

○予算はどうやって決めるの？

～市長が予算をつくり、議会の審査を経て決まります～

市長は、さいたま市総合振興計画などの計画をもとに、各部署で検討された案に市民の生活状況に合わせて新たな事業を加えたり、内容を見直す一方で、財源の確保も工夫をしながら予算案をまとめ、市議会に提出します。

市議会では、さまざまな議論を行いながら予算案を審査し、最終的に予算が決まります。

○会計には種類があるの？

予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をハッキリさせるために、3つの会計（一般会計、特別会計、企業会計）に区分しています。

〈さいたま市平成25年度予算〉

会計	平成25年度	
一般会計	4,475億円	教育、福祉、医療や道路・公園の整備など市の基本的サービスを行う会計
特別会計	3,121億円	国民健康保険や介護保険のように対象者が限られるなど、一般会計と区別する必要がある事業（15事業）
企業会計	1,076億円	事業収益でまかなわれている会計（水道、下水道、病院）
全会計	8,672億円	

宝くじは埼玉県内の売り場で！

埼玉県内で売れた宝くじの一部は、さいたま市の収入になり、さいたま市では少子化対策などに活用されています。

平成23年度 さいたま市宝くじ収入＝36億8,010万円

どうしてお金を借りるの？

道路や学校などの施設は、つくる年だけでなく、将来にわたり次の世代の市民に使われます。

そのため、次の世代の市民にも公平に負担してもらうため、借金をして分割で支払っています。

○収入状況は？

収入は、市税や使用料、手数料など国に依存しない自主的に収入することが出来る「自主財源」と、国庫支出金、地方交付税などの「依存財源」に分類されます。自主財源が多いほど、自主的な財政運営ができることとなります。

さいたま市の歳入の半分を占める市税収入は、景気の悪化の影響により平成21年度から減少し続けてきましたが、平成25年度の市税収入は、個人市民税における納税義務者数の増加及び固定資産税における家屋の新增改築等により、多少増収となる見込みです。

○支出状況は？

支出のうち、義務的経費が年々増加しています。特に扶助費については、少子高齢化に伴う福祉や医療にかかる費用の増加や景気悪化による生活保護費の増加などの影響により増大しています。

義務的経費は、収入が減ってもそれに合わせて簡単に減らせるものではありません。そのため、新たな事業への投資に使えるお金が少なくなります。

○市が借りているお金はいくらあるの？

さいたま市が借りているお金は4,448億円で、市民1人あたり357,301円となります。

ちなみに千葉市の市民1人あたりの市債残高は約79万円、横浜市61万円、大阪市は108万円です。